

浦城中学校便り

平成24年5月24日(木曜日)
第2号 文責:校長 牧野 直樹

分からることは家に持ち帰らない

浦城中学校は小規模校だからでしょうか、先生が職員室などで個別指導をしている光景を余り眼にすることがありません。以前の学校ではよく職員室でいろいろな教科で個別指導をしていたものでした。

私の尊敬するある方が「浦城は学校の先生が家庭教師のようなものだから、家に帰ってまで勉強せんでもいい」とおっしゃっていました。これは的を射た発言であると思います。授業中に分からぬことがあつたら、授業中や休み時間、放課後に遠慮せずに先生に質問して、分かるようにしておけば、個人差はあるにしても家に帰ってそんなに勉強しなくても良いはずです。

大切なことは「授業中に分からぬことを家に持ち帰らない」ということです。「分からなかつたら分かりません」と言う」「恥ずかしがらずに質問をする」「納得がいくまで先生に聞く」ことだと思います。教師の側も「分かりやすい授業をめざし、よりよい指導方法を常に探求し、生徒が質問しやすい雰囲気を創り出すこと。生徒が気軽に質問できる生徒との相互信頼の人間関係をつくること」等が求められます。

地区中体連大会近づく、さあ最後の追い込みだ!

今日で中間テストも終わり、今日から部活動再開です。地区大会が6月2日(土)(団体戦)、3日(日)(個人戦)に旭化成体育館で開催されます。

連休明けから週1回の夜間練習を行っていますが、コーチ、浦城中OB、T-ONEのメンバーの方、他たくさんの方々のご協力で一人一人ぐんぐん力をつけさせてています。平日の練習よりも何倍も密度の濃い練習ができるようになります。あと2回(25日、30日)の夜間練習と土曜、日曜の練習で最後の追い込みをはかり、秋の大会同様、接戦と逆転で念願の県大会出場を勝ち取ってほしいと思います。皆さんのご声援をお願い致します。

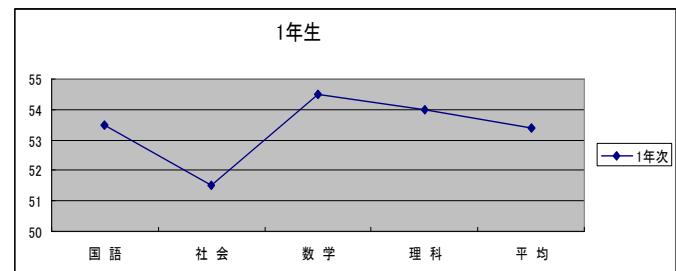


宮崎日日新聞「若い目」掲載

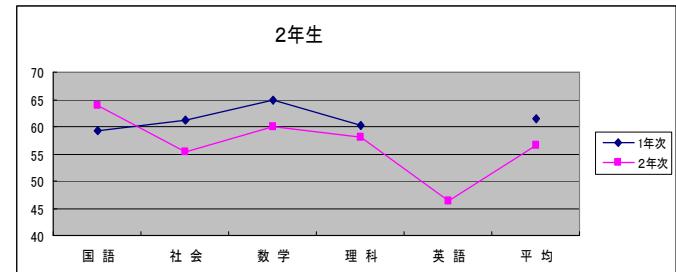
5月21日(月)の宮崎日日新聞に、小森那央さんの「危険注意し生活」という作文が掲載されました。内容は5月9日(水)に実施した「不審者対応訓練」で学んだこと、自分で考えたことなどをまとめたものです。これからも言葉で自分の考えを伝える学習の一環として、生徒作文をデイリー新聞や宮崎日日新聞などにどしどし投稿していきたいと思います。

NRT(全国標準学力検査)の結果より

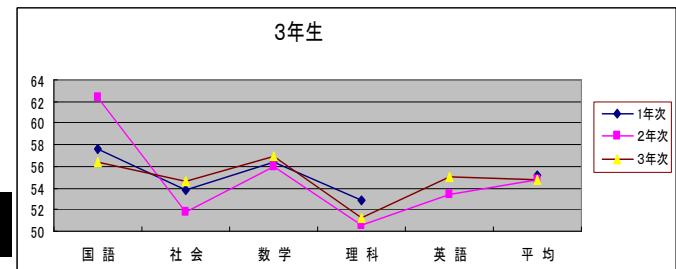
4月に実施したNRTテストの結果が送られてきました。全国平均を50点(偏差値)として各学年の平均点を経年のグラフにしてみました。3学年とも平均では全国平均(50点)を超えてはいます。



まず1年生ですが、国語、数学、理科がやや高く、社会が今一歩という感じです。英語はありませんでしたが最初が大切です。毎日しっかり取り組みましょう。



次に2年生ですが、見て分かるように、国、社、数、理に比べて英語が極端に低くなっています。英語は国語、数学と並んで主要3教科と呼ばれる非常に大切な教科です。好き嫌いなど言っている場合ではありません。3年生の英語は伸びているのに2年生が極端に落ち込んでいます。今のままでは手遅れになってしまいます。



最後に3年生です。3年間5教科の平均点はほとんど変わっていません。昨年度と比べて社、数、理、英が伸びており、バランス良く得点しています。個人的には不得意教科が足を引っ張っています。夏休みまでに、不得意教科の克服、1, 2年の復習をする必要があります。いかに宿習時間を増やすかが課題でしょう。